

# 折衝難航 市場は不安視

シントーン 矢田俊彦  
23日の上院公聴会で、不良債権の買い取り価格については、最も安い価格を提案した金融機関の債権を買い取る「逆入札」方式を導入する方針を明らかにした。この方式では買い取り価格が低めに誘導される可能性が高い。金融機関の一部は巨額の売却損で資本不足に陥ることも出てくる。

## 証券市場 異常な緊張

FRB議長 大幅な景気減速示唆  
シントーン 矢田俊彦  
準備制度理事会（FOMC）のバーナンキ議長は、米上下両院の合同経路で「世界市場は異常な緊張下」と指摘した。米経路示行きについても厳しさを示した。

金融システムが緊張してきて、「貸し手が（住宅などの）与信を慎み、経済成長が鈍化する」と指摘した。「金融システムの安定が景気回復に不可欠」と述べ、金融機関の不良債権買い取りの件を強調した。

債権の買い取り価格については、最も安い価格を提案した金融機関の債権を買い取る「逆入札」方式を導入する方針を明らかにした。この方式では買い取り価格が低めに誘導される可能性が高い。金融機関の一部は巨額の売却損で資本不足に陥ることも出てくる。



インタビュー④

米大手証券リーマン・ブラザーズの破綻など、米国の金融システムや市場を揺るがす出来事が相次いでいる。「米国の金融システムは3週間で歴史に残る変革を迫られ、金融取引のあり方は転換期を迎えた。証券会社は銀行からの借り入れを通じ、手持ち資金よりも何倍も大きな資産に投資する『レバレッジ取引』を行ってきた。今後は規制が厳しくなり、リスク管理が徹底されるだろう」

米プリンストン大 ヒュン・ソン・シン 教授



「今回の混乱は、証券化ビジネスが本来の目的を逸脱したために生じた。証券会社の手助けで企業が資本を調達する場である資本市場に、銀行からの融資マネーが過度に流れ込み、市場が急速に肥大化したはずみが出ています」

## 融資マネー 過度に流入

得るべき教訓は、証券化ビジネスが本来の目的を逸脱したために生じた。証券会社の手助けで企業が資本を調達する場である資本市場に、銀行からの融資マネーが過度に流れ込み、市場が急速に肥大化したはずみが出ています。

## EU、ファンド規制強化へ

【ロンドン＝星枝智】欧州連合（EU）が、ヘッジファンドの規制強化に乗り出す見通しだ。欧州議会は23日、執行機関である欧州委員会に対し、ヘッジファンドや、非上場企業に投資して株式公開で利益を得る「プライベートエクイティ・ファンド」にも、十分な自己資本を求めるとする新法規制法案を定めるよう要請した。米国の金融危機に対応した措置だ。

## NY原油相場操縦の疑惑

【ニューヨーク＝山本正実】米商品先物取引委員会（CFTC）は23日、ニューヨーク商業取引所での22日の原油先物取引に相場操縦の疑いがあると調査に入った。前週末比25.45%高の147.13ドルに上昇した。ブルームバーグが米メディアが報じた。22日は、テキサス産軽質原油（WTI）の10月渡しの価格が一時、前週末比25.45%高の147.13ドルに上昇した。

金融危機の際に米政府や米連邦準備制度理事会（FRB）が果たすべき役割は、中央銀行が取れる措置は、貸し出しによる流動性の供給だけ、出資はできない。ただ、融資だけでは信用危機は解決できない。日本が苦しん

入額に対比される米銀行の資産は約1兆1000億、証券会社や政府系住宅金融も加えて約2兆1000億だ。信用収縮で傷んだ銀行の財務基礎を公的資金が補い、予想される今後の損失額も減らさなければならない。民間から新たな出資を仰ぐことが最善だったが、銀行の既存の株主が株主価値の低下を恐れて反対するなど、難しい事情もあった。

今回のような大規模な公的資金の投入は、インフレ懸念や国の借金の膨張を招く恐れもあるが、財政赤字は拡大するが、インフレになるまでには時間がかかるだろう。ただ、国の信用格付けが下がる懸念がある。ドルを安定させることも重要な課題になる。

## 新社長



高家正行氏（左）と、まきゆき 85年度大経卒三井銀行現入行。06年10月からのシリアル・グループ本社常務執行役員。東京都出身。45歳。三井社長は代表権のある会長に。10月1日付。

## 決算・人事

7月期決算速報  
○三菱UFJ銀行 10月1日付 決算速報  
○三井住友銀行 10月1日付 決算速報  
○東京マリンバンク 10月1日付 決算速報  
○三井住友海上火災 10月1日付 決算速報  
○三井物産 10月1日付 決算速報  
○三井物産 10月1日付 決算速報